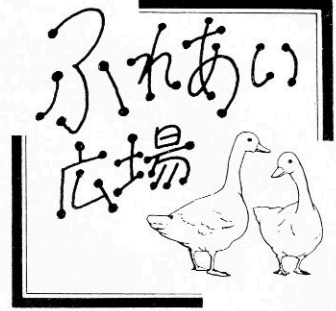


完成した千畳敷野営場

昭和六十一年・六十二年度の二ヶ年で進められてきた千畳敷野営場施設が完成。便所、炊事棟、テントサイト等が整備され、立派なキャンプ場になりました。利用についてのお問い合わせは日置町観光協会(☎二一六四)へ。施設は大事に使いましょう。○ゴミは必ず持ち帰りましょう。

千畳敷野営場完成



音楽の鑑賞を通して、音楽に対する学習意欲を高め、音楽を愛好する心情を育成することを目的として、県交響楽団の巡回音楽教室演奏会が、六月八日、日置小学校講堂で行われました。同交響楽団四十三人が、町内小・中学校の児童、生徒約四百人を前に、ビバルディ作曲、四季「春」第一楽章や童歌など、八曲のすばらしい生演奏を披露しました。演奏の間には、楽器の役割や音色の紹介、指揮者・山崎凱千さんの歌、女子児童が本物のトランペットに挑戦するなど、バラエティーに富んだ楽しい音楽教室となりました。

生演奏にうっとり

日置小で
巡回音楽教室演奏会



県交響楽団による演奏

千畳敷で

「ミニ植樹祭」

六月十二日、自然公園整備事業により装いも新たになった千畳敷でミニ植樹祭が催されました。

これは、山口県が「みどり」の環境づくりの気運を高めるため、環境週間中の行事の一環として行ったものですが、当日はあいにくの悪天候のため、町長をはじめ来賓、緑の少年隊と婦人林業グループの代表により記念植樹としてキンモクセイ八本を植えました。植樹のあと改善センターにおいて、もちまきと「自然と遊ぶ」をテーマに自然観察指導員による講話が行われ、子供たちは楽しい一日を過ごしました。この日植える予定



のドウダンツツジ、平戸ツツジ、サツキの苗木八百本は、習日、婦人林業グループの手によって植えられました。来年の花の時期が今から楽しみです。

中国より義父の 学友を訪ねて

郭沫若の足跡をたどる

世界的にも有名な中国の文学者であり、政治家、考古学者でもあった郭沫若(かく・まつじやく、一八九二〜一九七八年)氏の娘婿、張澄寰(ちやう・ちようかん)さんが、六月八日、日置町を訪れ、義父が日本に留学していたときの学友、長谷川済先生と(長行)対面、日本で学生時代を過ごした義父の思い出話に花を咲かせました。

郭氏と長谷川先生とは、岡山の旧制第六高等学校、九州帝国大学の同級生で、机を並べ勉強に励んだ仲でした。

張さんは、中国でも有名な書道家であり詩人。義父となった郭氏の伝記をまとめるため来日、この日の訪問となったもので、義父の学生時代のエピソードなど長谷川先生の懐かしい思い出話に耳を傾けていました。若いころの義父の面影にふれ、「父の



長寿を祈って

友人に会えて、本当によかった」と大感激。長谷川先生へ感謝と長寿の意を込めて、自らが腕をふるった「寿星」の書を贈り、友好の固い握手を交わされた。張さんとの別れ際に、日置町の印象を尋ねると、「日置町には、山や川、海があり、田んぼの様子も私の生まれ故郷(福建省)によく似ていて、親しみを感ずる。今後とも日本と中国との友好関係がもっと深く強まることを願っています」と力強く答えてくださいました。

